

NESS

取 扱 説 明 書

パイプサイホン

(圧力計付属品)

お 願 い

この取扱説明書は最終ご使用いただくお客様の元に、保存されますようご配慮をお願いいたします。

ネステック株式会社

URL : <http://www.nesstech.co.jp>

本社営業部 〒275-0024 千葉県習志野市茜浜1丁目12番1号
電話 047(453)5502 FAX 047(453)1181
Eメール e.sales@nesstech.co.jp

関西営業部 〒550-0011 大阪市西区阿波座2丁目1番1号
大阪本町西第一ビルディング11階
電話 06(6539)5656 FAX 06(6539)5858
Eメール w.sales@nesstech.co.jp

国際営業部 〒275-0024 千葉県習志野市茜浜1丁目12番1号
電話 047(453)6555 FAX 047(453)6556
Eメール global@nesstech.co.jp

[保証について]

本製品は厳重な品質管理のもとに製作されておりますが、万一出荷後一年以内に弊社の製造上の原因による品質不良が発生した場合は、無償にて当該製品のための修理、あるいは良品と交換を致します。但し、弊社及び弊社が指定する業者以外の手による製品の分解、製品自体の改造、取扱い不備、使用による劣化等については保証致しかねますので、あらかじめ御了承ください。

また、取扱い不備について現場での実証は極めて困難な場合がありますので、部品の変形等の明白な痕跡が認められた場合は、弊社によってその旨判断させていただきますのであらかじめ御了承ください。

はじめに

パイプサイホンをご使用の際は、御使用前に本書をよく御覧のうえ、正しく有効に御使用ください。

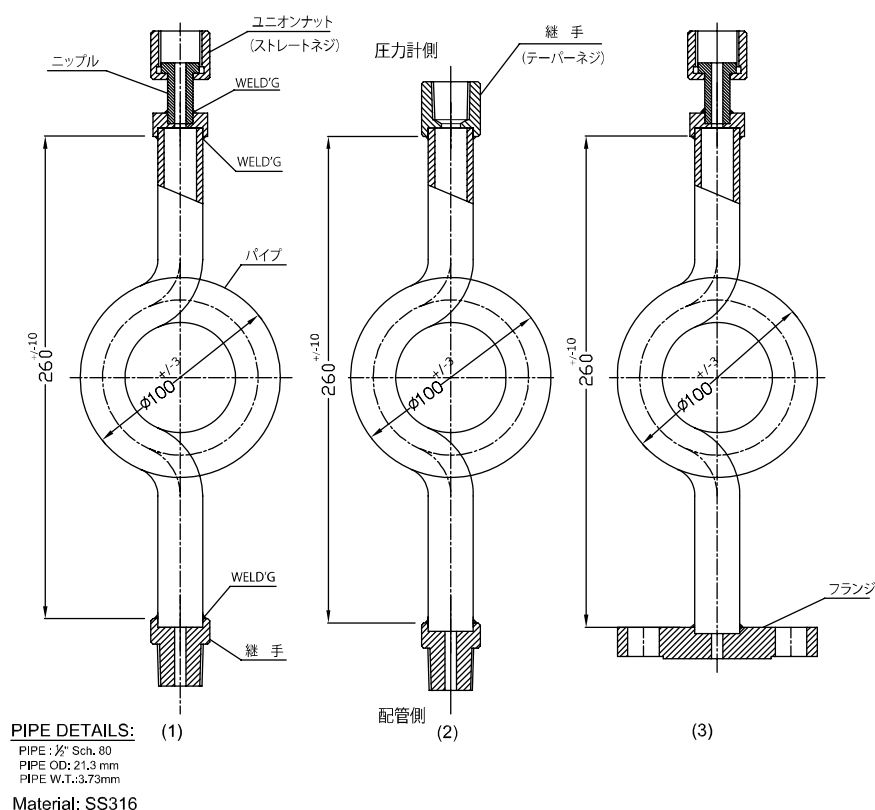
尚、この取扱説明書は一般的な取扱いについて記載してありますが、全てを網羅するものではありませんので、この取扱説明書以外の事項については、弊社営業所までお問合せ下さい。

用途と機能について

パイプサイホンは測定体が蒸気等のような高温流体の場合に、圧力計等と圧力源の間に入れて、測定流体の温度を下げ圧力計等を保護する為に使用します。

構造

概略構造は下記の通りです。



パイプサイズ：

- ・ 1/2 "Sch.80 (標準)
- ・ 1/2 "Sch.160

性 能

使用最高温度： 400℃

使用最高圧力： 13.5MPa（1/2 “Sch.160 パイプの時）

使用流体： 液体・気体（但し、接液部を腐食させるような液体及び高粘度の流体は不可）

警告

- ・ 使用最高圧力以上の圧力を加えないでください。
パイプサイホンが破損又は破裂し、けがや周囲を破壊する原因となります。
- ・ 接液部材質を腐食・劣化させる測定体には、使用しないでください。
パイプサイホンが破損又は破裂し、測定体が放出する事により、けがや周囲を破壊する原因となります。
- ・ 使用温度範囲内で御使用ください。
使用温度範囲外で使用されますとパイプサイホンが故障または破損し、けがや周囲を破壊する原因となります。

取り付け・メンテナンス

パイプサイホンの配管側を配管（圧力源）に取付け、圧力計等を取付けてください。

シール部には、用途に適したパッキンを使用し、テーパネジの場合にはシールテープを巻いて、シールさせてください。接続部より漏洩が生じた場合は、圧力がかかっていない状態で増し締め、またはパッキンを交換してください。

圧力計の点検及び校正の為に、圧力計とパイプサイホンの間にバルブ又はコックを装着されることを推奨致します。

警告

- ・ シール不十分の場合、パイプサイホンが外れたり、測定体が突出してけがや周囲を破壊する原因となります。
- 圧力計側に重量物や取付ける場合や、振動のある場所に使用する場合には、パイプサイホンに無理な力が加わらない様に、パイプサイホンを保護する対策をとって下さい。

冷却効果について

パイプサイホンの冷却効果はパイプ径、肉厚、長さ又は室温、通気状態等の取付け環境により異なります。

警告

- ・ 運転中はパイプサイホンを直接手で触れないでください。測定流体の温度によっては、高温になる恐れがあり、火傷の原因となります。

本取扱説明書に不審な点や誤り、記載漏れがあったときは、購入の代理店または弊社までご連絡ください

尚、本取扱説明書は予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。